



新興プランテック

第105期 中間報告書

平成20年4月1日～平成20年9月30日





代表取締役社長

藤井 清喜

Contents

株主の皆様へ	1
業績ハイライト（連結）	3
中期経営計画のご説明	4
中間連結財務諸表	5
中間財務諸表	7
事業のご紹介	8
会社概要	9
株式の状況	10

株主の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第105期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業の概況をご報告申し上げます。

わが国経済は、原油・原材料価格の高騰や米国のサブプライムローン問題に端を発した金融不安が世界的に広がり、世界同時株安や急激な円高など、景気の先行きがますます不透明な状況となる中、個人消費の伸び悩みに加え、これまで企業収益を牽引してきた輸出や設備投資に陰りが見え始めました。

当社グループを取り巻く事業環境につきましては、石油・石油化学関連のメンテナンス工事の需要は引き続き旺盛に推移いたしました。しかしながら、当社グループの主要顧客であります石油・石油化学業界では、景気の減速や国内における石油製品の需要減少の影響により、補修工事の必要性をより厳格に精査される姿勢が鮮明となり、加えて設備投資計画の見直しも余儀なくされる状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、平成19年度を初年度として策定した第3次中期計画に沿って、エンジニアリング力のあるメンテナンス会社として付加価値の高いメンテナンスサービスの提供、顧客ニーズの多様化・高度化に対応した的確な営業戦略の立案など、受注と収益の確保に努めた結果、連結ベースの業績としては、受注高（エンジニアリング業）は前年同期比15.7%増の581億2千5百万円となり、完成工事高は前年同期比

21.6%増の586億7千9百万円となりました。完成工事高の内訳につきましては、下表のとおりとなっております。なお、経常利益は53億7百万円（前年同期比7.9%増）、中間純利益は29億1千2百万円（前年同期比1.5%減）となっております。

当社グループのうち、当社単体の業績につきましては、受注高は569億3千5百万円（前年同期比17.3%増）、完成工事高は573億7千9百万円（前年同期比21.8%増）、経常利益は50億2千万円（前年同期比7.4%増）、中間純利益は27億8千9百万円（前年同期比1.7%減）となりました。

今後のわが国経済は、食料やエネルギー等の物価上昇による個人消費の伸び悩みに加え、世界的な金融不安による経済情勢の悪化が予想されます。このような環境の下、当社グループは、引き続き受注と収益の確保に努めるため、第3次中期計画に基づき、事業基盤および収益基盤の一層の強化を図っていく所存であります。

なお、中間配当は見送らせていただきますが、期末配当金につきましては、1株当たり25円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

表①事業セグメント別

(単位：百万円)

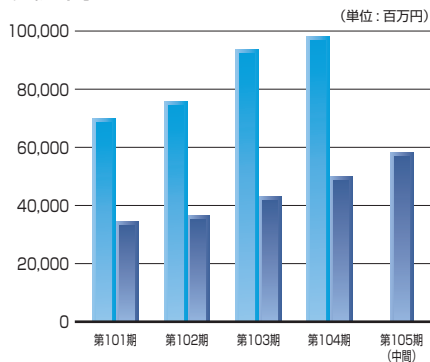
完成工事高	当中間期	前中間期	前年比	増減率
石油・石油化学関係	41,265	40,672	593	1.5%
一般工業関係	17,237	6,712	10,524	156.8%
環境その他	53	741	△688	△92.8%
エンジニアリング業	58,556	48,126	10,429	21.7%
その他の事業	123	136	△12	△9.3%
合計	58,679	48,263	10,416	21.6%

表②工事種類別（その他の事業を除く）

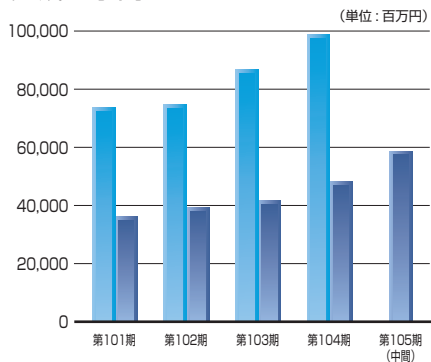
(単位：百万円)

完成工事高	当中間期	前中間期	前年比	増減率
日常保全工事	10,068	10,712	△643	△6.0%
定期修理工事	24,593	19,104	5,488	28.7%
改造・改修工事	11,023	9,176	1,847	20.1%
新規設備工事	12,871	9,133	3,737	40.9%
エンジニアリング業	58,556	48,126	10,429	21.7%

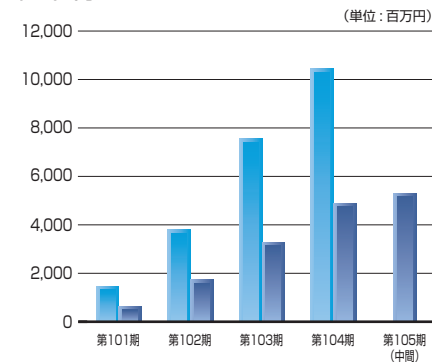
受注高



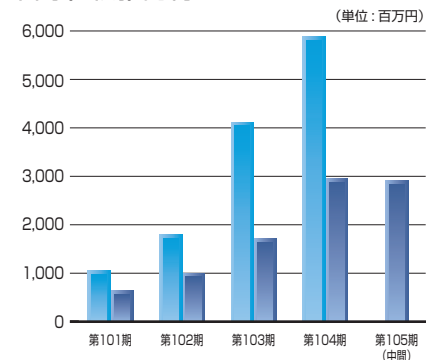
完成工事高



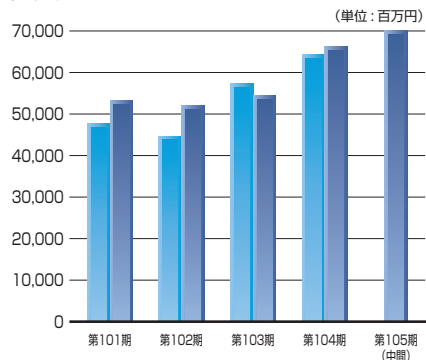
経常利益



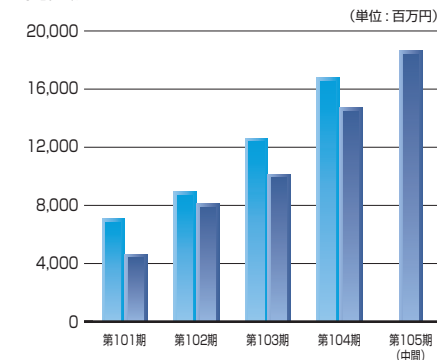
中間(当期)純利益



総資産



純資産



(単位: 百万円)

	第101期 (平成17年3月期)	第102期 (平成18年3月期)	第103期 (平成19年3月期)	第104期 (平成20年3月期)	第105期(中間) (平成21年3月期)
受注高	69,986	75,672	93,618	98,073	58,125
完成工事高	73,775	74,648	86,826	98,925	58,679
経常利益	1,458	3,784	7,532	10,433	5,307
中間(当期)純利益	1,037	1,809	4,116	5,876	2,912
総資産	47,744	44,665	57,314	64,363	70,096
純資産	7,091	8,973	12,632	16,816	18,606

第3次中期計画

Growth to the Next Stage

プラントメンテナンス業界のリーディングカンパニーとして更なる成長を目指します。

「高度な品質のメンテナンスおよびエンジニアリングの提供を通じて永続的に発展し、顧客の生産性の向上に寄与するとともに、社会の繁栄ならびに地球環境の保全に貢献する。」という経営理念のもと、平成19年4月から平成22年3月までの第3次中期計画を策定し、着実に施策を実行に移しております。

経営ビジョンおよび事業戦略



当社グループの事業は、「顧客プラントの安全で安定的な操業を支え、生産性の向上に貢献する付加価値の高い事業である。」という基本認識に立ち、エンジニアリング能力のあるメンテナンス企業という当社グループの特長を活かし、顧客に信頼される強力なパートナーとして、プラントメンテナンス業界のリーディングカンパニーとして成長し続けております。また「確かな品質と安全」を確保し、新たな発想に基づく「現場改革」を推進し「人材の強化・育成」に注力するとともに「内部統制システム」の確実な運用を行い、企業価値の向上と経営目標の達成を図っております。

業績目標および財務目標

連結業績目標

	平成20年3月期(実績) (平成19年4月~20年3月)	平成21年3月期(※) (平成20年4月~21年3月)	平成22年3月期(※) (平成21年4月~22年3月)
受注高	980億円	1,000億円 →1,090億円	1,000億円
完成工事高	989億円	1,000億円 →1,080億円	1,000億円
経常利益	104.3億円	97.0億円 →98.0億円	97.0億円
当期純利益	58.7億円	50.0億円 →51.0億円	50.0億円

(※)平成21年3月期の業績目標につきましては、当第2四半期決算発表時(平成20年11月7日)に上記のとおり修正しております。なお、平成22年3月期につきましては、平成21年3月期の決算の数値により見直す予定(平成21年5月)です。

連結財務目標(平成22年3月期目標)

- ①有利子負債：ゼロ(単体)
- ②純資産：200億円以上



中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成20年3月31日現在)	当中間期末 (平成20年9月30日現在)	科 目	前期末 (平成20年3月31日現在)	当中間期末 (平成20年9月30日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	49,549	54,869	流動負債	46,839	51,092
現金預金	8,569	8,989	支払手形・工事未払金	35,054	42,015
受取手形・完成工事未収入金	21,839	26,169	短期借入金	1,709	1,146
有価証券	1,498	3,197	未払法人税等	1,761	1,718
未成工事支出金	16,779	15,559	未成工事受入金	5,191	3,165
繰延税金資産	748	762	完成工事補償引当金	223	194
その他	122	197	賞与引当金	1,140	1,145
貸倒引当金	△ 8	△ 6	役員賞与引当金	98	58
固定資産	14,813	15,226	その他	1,657	1,648
有形固定資産	10,724	10,682	固定負債	707	397
建物及び構築物(純額)	3,060	3,022	長期借入金	305	—
土地	7,111	7,111	退職給付引当金	44	46
その他(純額)	551	547	役員退職慰労引当金	233	214
無形固定資産	95	106	その他	123	135
投資その他の資産	3,993	4,437	負債合計	47,546	51,489
投資有価証券	2,090	2,137	純資産の部		
前払年金費用	732	1,608	株主資本	17,274	19,029
長期前払費用	3	2	資本金	2,754	2,754
繰延税金資産	743	303	資本剰余金	1,688	1,688
その他	501	466	利益剰余金	12,864	14,621
貸倒引当金	△ 78	△ 82	自己株式	△ 33	△ 35
資産合計	64,363	70,096	評価・換算差額等	△ 509	△ 503
			その他有価証券評価差額金	△ 502	△ 500
			為替換算調整勘定	△ 6	△ 2
			少数株主持分	51	80
			純資産合計	16,816	18,606
			負債・純資産合計	64,363	70,096

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
完成工事高	48,263	58,679
完成工事原価	41,757	51,873
完成工事総利益	6,505	6,806
販売費及び一般管理費	1,498	1,473
営業利益	5,006	5,332
営業外収益	142	152
営業外費用	228	177
経常利益	4,920	5,307
特別利益	21	9
特別損失	410	253
税金等調整前中間純利益	4,531	5,063
法人税、住民税及び事業税	2,095	1,693
法人税等調整額	△ 541	427
少数株主利益	22	29
中間純利益	2,955	2,912

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期	当中間期
	(平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	(平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,521	4,545
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,029	△ 418
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,294	△ 2,023
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	15
現金及び現金同等物の増減額	△ 804	2,119
現金及び現金同等物期首残高	8,327	10,068
現金及び現金同等物中間期末残高	7,523	12,187

中間連結株主資本等変動計算書 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
平成20年3月31日残高	2,754	1,688	12,864	△ 33	17,274	△ 502	△ 6	△ 509	51	16,816
中間連結会計期間中の変動額										
剰余金の配当			△ 1,155		△ 1,155			—		△ 1,155
中間純利益			2,912		2,912			—		2,912
自己株式の取得				△ 2	△ 2			—		△ 2
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額(純額)					—	2	4	6	29	35
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,757	△ 2	1,754	2	4	6	29	1,790
平成20年9月30日残高	2,754	1,688	14,621	△ 35	19,029	△ 500	△ 2	△ 503	80	18,606

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (平成20年 9月31日現在)	当中間期末 (平成20年 9月30日現在)
資産の部		
流動資産	48,760	53,892
固定資産	14,766	15,172
有形固定資産	10,287	10,260
無形固定資産	90	101
投資その他の資産	4,389	4,810
資産合計	63,527	69,065
負債の部		
流動負債	46,477	50,668
固定負債	559	272
負債合計	47,037	50,941
純資産の部		
株主資本	16,997	18,629
評価・換算差額等	△ 508	△ 505
純資産合計	16,489	18,123
負債・純資産合計	63,527	69,065

中間損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前中間期 (平成19年 4月 1日から 平成19年 9月30日まで)	当中間期 (平成20年 4月 1日から 平成20年 9月30日まで)
完成工事高	47,091	57,379
完成工事原価	41,002	51,022
完成工事総利益	6,088	6,356
販売費及び一般管理費	1,362	1,353
営業利益	4,726	5,002
営業外収益	172	190
営業外費用	222	172
経常利益	4,676	5,020
特別利益	10	13
特別損失	410	253
税引前中間純利益	4,276	4,781
法人税、住民税及び事業税	1,962	1,547
法人税等調整額	△ 522	444
中間純利益	2,837	2,789

中間株主資本等変動計算書 (平成20年 4月 1日から平成20年 9月30日まで)

(単位：百万円)

項 目	株主資本											評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本 準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
平成20年 3月31日残高	2,754	1,372	316	1,688	408	231	500	11,448	12,587	△ 33	16,997	△ 508	△ 508	16,489
中間会計期間中の変動額														
剰余金の配当				—				△ 1,155	△ 1,155		△ 1,155		—	△ 1,155
中間純利益				—				2,789	2,789		2,789		—	2,789
買換資産圧縮積立金の取崩				—		△ 7		7	—		—		—	—
自己株式の取得				—				—	—	△ 2	△ 2		—	△ 2
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額(純額)				—				—	—		—	2	2	2
中間会計期間中の変動額合計	—	—	—	—	—	△ 7	—	1,641	1,633	△ 2	1,631	2	2	1,634
平成20年 9月30日残高	2,754	1,372	316	1,688	408	223	500	13,089	14,221	△ 35	18,629	△ 505	△ 505	18,123

当社は石油、石油化学、一般化学、薬品、食品などのお客様のプラント（製品製造装置）のメンテナンスから建設工事に至る幅広い業務を提供しております。

■ プラントメンテナンス

当社はプラントメンテナンスのエキスパートとして、長年の経験により培った技術と高度な技能により、専門性の高いメンテナンスサービスを提供し、プラントの安全で安定的な操業に貢献できるよう日々努力を重ねております。また、お客様のプラントメンテナンスに関する多様なニーズにお応えするために「One to One Maintenance」をテーマとして、それぞれのお客様とのコミュニケーションを通じ、プラントメンテナンスに関する課題や問題点に対する改善策や解決策を提案しております。

メンテナンスにおいては、お客様のプラントの安全で安定的な操業を支えることを目的として、次のような工事を行っております。

- プラント稼動に伴い、発生する配管の補修、フィルターの清掃、回転機械の点検などの工事
- 高圧ガス保安法などの法令で定められたものを中心に定期的にプラントを停止させ、点検、補修、改造などを行う工事
- プラントの能力増強や生産性向上のための改造や老朽化による設備更新などを目的に行われる工事



■ プラント建設

お客様は新製品の製造や生産能力の増強などを目的として、プラントを新たに建設される場合があります。当社では中小規模のプラント建設を主体として、各種プラントの企画から基本設計、詳細設計、資機材調達、現地工事、試運転に至る機能的なプロジェクトマネジメントにより、効率的で合理的なプラント建設を実現しております。



■ 概要 (平成20年9月30日現在)

- 商号 新興プランテック株式会社
Shinko Plantech Co., Ltd.
- 本社所在地 〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町27番地 5
- 設立 1938年(昭和13年)7月20日
- 資本金 2,754,473,003円
- 上場取引所 東京証券取引所 市場第一部
- 従業員数 連結 1,075名 単体 957名

■ ネットワーク (平成20年9月30日現在)

- 工場 磯子(横浜市)
- 事業所 室蘭(室蘭市)、仙台(仙台市)、横浜(横浜市)、根岸(横浜市)、鹿島(神栖市)、千葉(市原市)、川崎(川崎市)、川崎TG(川崎市)、和歌山(有田市)、大阪(高石市)、水島(倉敷市)、岩国(岩国市)、徳山(周南市)、新潟(新潟市)、富山(富山市)、東海(静岡市)
- 子会社 新興総合サービス株式会社(横浜市)
新興動機械サービス株式会社(横浜市)
エヌ・エス・エンジニアリング株式会社(横浜市)
無錫興高工程技術有限公司(中国)

■ 役員 (平成20年9月30日現在)

- | | | |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 取締役
代表取締役社長
執行役員社長
取締役専務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員
取締役常務執行役員 | <ul style="list-style-type: none"> 藤井 清喜 長尾 和彦 佐野 貞雄 大島 寿之 曾田 治男 清水 邦雄 小宮 良 寺田 義広 吉川 善治 中田 正人 | <ul style="list-style-type: none"> ● 監査役
常勤監査役 曾根田 悦郎
常勤監査役 朝倉 和彦
監査役 三原 秀次
監査役 渡辺 裕史 ● 執行役員 (取締役兼務者を除く)
常務執行役員 梁取 隆夫
常務執行役員 小池 康夫
執行役員 岡 富洋
執行役員 中沢 信雄
執行役員 大橋 良司
執行役員 王子 眞一
執行役員 佐々木 勉
執行役員 中野 功
執行役員 宮崎 周一郎
執行役員 大友 喜治 |
|--|---|---|

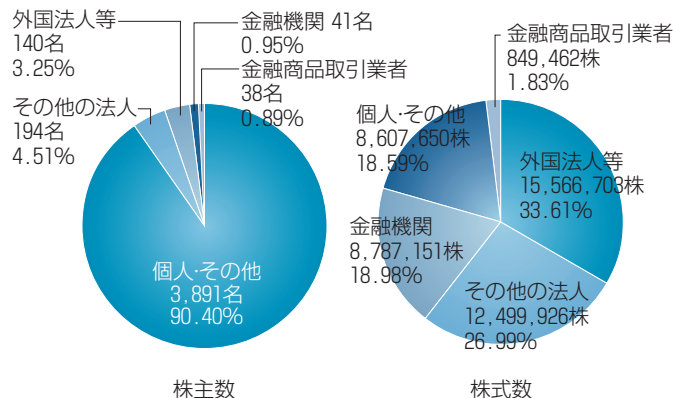
株式の状況 (平成20年9月30日現在)

- 発行可能株式総数 160,000,000株
- 発行済株式総数 46,310,892株
- 株主数 4,304名 (前期末比56名減)
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
新日本石油株式会社	6,100,000	13.19
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	3,797,600	8.21
株式会社NIPPOコーポレーション	1,500,000	3.24
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口4G)	1,316,800	2.85
ゴールドマン・サックス・インターナショナル	1,144,600	2.48
ルクセンブルグオフショア ジャスティックレンディングアカウント	1,123,500	2.43
ステートストリートバンクアンド トラストカンパニー505223	1,047,500	2.27
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	951,400	2.06
新興プランテック従業員持株会	791,967	1.71
ビービーエイチ493111フォワード インタルスモールカンパニーズ	680,000	1.47

(注) 出資比率は、自己株式(77,830株)を控除して計算しております。

●所有株数別株式分布状況



●株主メモ

決 算 期
定 時 株 主 総 会
基 準 日

3月31日

6月中

定時株主総会については3月31日といたします。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

配 当 金 受 領
株 主 確 定 日
株 主 名 簿 管 理 人

3月31日および中間配当を実施するときは9月30日

同 事 務 取 扱 場 所

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

〒137-8081東京都江東区東砂七丁目10番11号

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

TEL 0120-232-711 (フリーダイヤル)

(電話問い合わせ)
および郵便物送付先)

同 取 次 所
公 告 の 方 法

三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

電子公告といたします。但し、電子公告による公告を
することができない場合は、日本経済新聞に掲載する
方法といたします。

単 元 株 式 数

100株